



研修報告書

第3回 臨地実習指導者研修

2025年8月5日①14:00～15:15②15:30～16:45 開催

20の部署から、今年度の臨地実習指導者22名が参加しました



【目的】

臨地実習指導者の役割を理解し、効果的な実習指導ができる。

【目標】

1. 学生へ関わる時の態度や姿勢を理解し、実践できる。
2. 指導方法を理解し、ロールプレイを通して実践できる。

内訳

13名
59%

今年度初めて臨地実習指導者

9名
41%

臨地実習指導経験あり



今回の研修ではロールプレイを行い、実践的なスキルを習得しました

学生さんの学びを深めるための関わりについて
3つのシナリオについてみんなで考えました

ロールプレイのあとに、みんなで振り返りを行い、よりよい指導を行うための関わり方について考えました



シナリオ①態度、言葉遣い、協調性に課題がある学生への指導



振り返り

【受講者の声】一部抜粋

- ・学生さんに注意しなければならない時に、なんと伝えるかとても難しかった。自信はあまりないけど、もしこういう学生さんがいたら活かしていきたい。
- ・まずは学生の考えを聞くなど今後のアドバイスを的確に相手を傷つけないような関わりが学べた。
- ・親しみやすさなど学生の思いを汲み取りつつ、どう接したらいいのか考えるきっかけになった。

シナリオ②学生の報告に対する指導（バイタルサインしか報告しない）



振り返り

【受講者の声】一部抜粋

- ・できていることを褒めながら、他に観察したことはないかうまく聞き出すのが難しいなと思いましたが、今日のロールプレイを参考に活かしていきたい。
- ・学生が持っている情報を引き出せるように関わりたい
- ・自己学習などを通して観察の視点を一緒に考えることも効果的だったと思った。

シナリオ③患者のベッドサイドに行かない消極的な学生への指導



振り返り

【受講者の声】一部抜粋

- ・一緒に行動してみることで、学生さんの安心感に繋がった。
- ・学生の行動の裏にあるもの（理由）をうまく引き出してあげられるように対応したい。
- ・学生の気持ちや思いにも寄り添いながら、一緒に対応していけるといいなと思った。
- ・PNPをしっかり行う。

PNPフィードバック

(Positive-Negative-Positive feedback)

- ①まず、いい点、頑張りを具体的に褒める！
- ②次に、改善が必要な点、課題を具体的に伝える
- ③最後に、再度いい点を褒めたり改善後の期待を伝え、モチベーションを維持する！

演習支援者として
ご協力いただきました

THANK YOU



シミュレーションセンター 中山龍彦さん リハビリテーション部 本村麻理絵さん

【部署のみなさまへ】

学生さんは、臨地実習で知識や技術だけでなく、**態度**も学んでいます。実習指導者と一緒に、看護師としての姿勢、看護の魅力を沢山伝えてください！